

第3回地域連携フォーラム・シンポジウム概要

1. 主催・共催

主催：文教大学大学院人間科学研究科

共催：三郷市教育委員会・越谷市教育委員会

2. 日時・場所

日時：平成25年1月26日（土） 午後2時から午後4時30分

場所：文教大学12号館12102教室

3. テーマ

子どもたちの健やかな心を育むコミュニティ作り

ー教育と福祉の連携の在り方を探るー

4. 企画趣旨

私たち大人は、子どもたちが希望をもって自らの未来を創造し、豊かな地域社会の実現の担い手になってくれることを願っている。しかし、現実を目を向けると、子どもたちの置かれている状況は必ずしもそうではない。連日のようにマスコミ等で報道される虐待やいじめ、不登校、非行などの問題は、子どもたちが私たち大人に対して発信しているヘルプのメッセージである。私たち大人には、子どもたちが発するメッセージをしっかりと受け止め、子どもたちが必要とする援助を提供することが求められている。こうしたメッセージに答えていくためには、家庭、学校、地域社会が緊密な連携のもとで、子どもたちを育む土壌を作っていかなければならない。

文教大学大学院人間科学研究科の地域連携事業では、この目標の実現を目指して平成22年度より三郷市教育委員会、越谷市教育委員会、地域の子育て支援NPO法人などと連携して子どもたちの支援に関する研究交流を行ってきた。過去2回の地域連携フォーラム・シンポジウムの取り組みを通して、子どもたちの健やかな育ちのための地域連携の重要性があらためて確認された。

そこで、今年度の地域連携事業では、『子どもたちの健やかな心を育むコミュニティ作りー教育と福祉の連携の在り方を探るー』をテーマに、フォーラム・シンポジウムを開催することにした。これまでの取り組みで培われた地域支援のネットワークが、今後より緊密な連携のもとに地域づくりの力となっていくことを心から願っている。

5. シンポジウムの構成

(1)趣旨説明 今野 義孝（文教大学人間科学部）

(2)司会 関井 友子（文教大学人間科学部）

(3) 話題提供

- ①新井 雅彦(越谷児童相談所)
子どもの安全を守るー地域との連携ー
- ②有田 るみ子(三郷市教育委員会)
「先輩の声を聞く会&不登校を考える会」
- ③斎藤 紀義(越谷市教育委員会越谷市教育センター)
スクールソーシャルワーカーの役割と活用
- ④橋本 喜與子(NPO法人C・Cスペース)
居場所をなくした女性と子どもたちへの支援
- ⑤櫻井 慶一(文教大学人間科学部)
教育と福祉の連携ー福祉教育の歴史と今日的課題ー

(4) 指定討論 谷口 清(文教大学人間科学部)

(5) まとめ 関井 友子(文教大学人間科学部)